環境活動レポート

平成30年度

（平成30年1月から平成30年12月）

作成　2019年2月14日

改訂　2019年3月22日

改訂　2019年3月27日

東邦化成株式会社

目　次

１．　組織の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

（１）事業所名及び代表者名　・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

（２）所在地　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

（３）環境管理責任者氏名・担当者連絡先　・・・・・・・・・・・・１

（４）法人設立年月日　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

（５）組織図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

（６）事業活動の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

（７）事業の規模・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

２．対象範囲、レポートの対象期間及び発行日・・・・・・・・・・２

３．環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

４．環境目標・環境目標の実績・・・・・・・・・・・・・・・・・４

５．環境活動計画と取組実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

６．環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容・・・６

７．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

並びに違反、訴訟等の有無・・・７

８．代表者による全体評価と見直しの結果・・・・・・・・・・・８

１．組織の概要等

（１）事業所名及び代表者名

東邦化成株式会社

代表取締役　礒　部　　進

（２）所在地

■本社　東京都台東区日本堤２丁目３８番１号（平成２２年認証登録）

■倉庫　東京都台東区日本堤２丁目１８番５号（平成２２年認証登録）

（３）環境管理責任者氏名・担当者連絡先

環境管理責任者　東條賢司

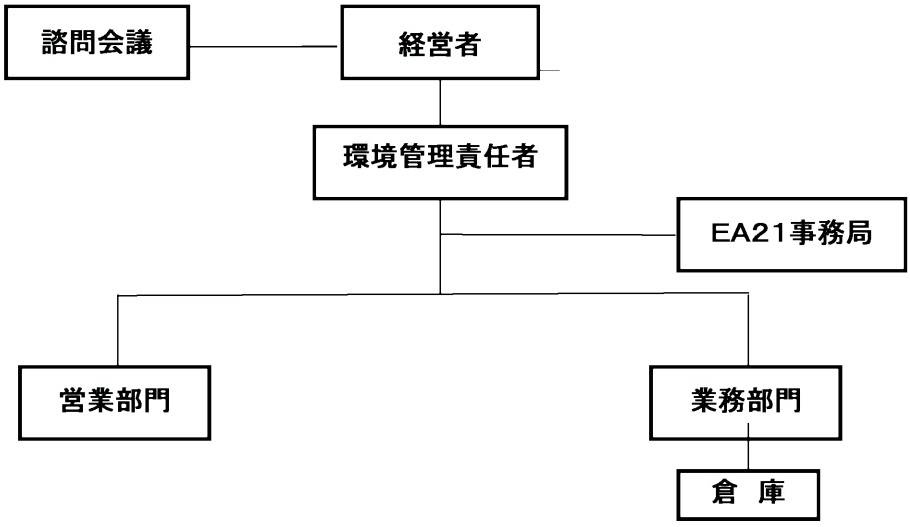
担当者　　糸賀あゆみ

連絡先　電話 03-3872-5111　FAX.03-3871-5623　e-mail:eigyou@tohokasei.co.jp

（４）法人設立年月日

平成 29 年 11 月 21 日 東邦化成株式会社（現東邦株式会社）より会社分割により設立

（５）組織図



（６）事業活動の概要

化学製品（塗料、溶剤、接着剤、消火器、合成樹脂等）
及び関連機器の卸売

本社；　・製品の管理、営業
　　・製品の運搬、梱包、出荷

倉庫；　・製品の管理、運搬、梱包、出荷

（７）事業の規模

事業規模	単位	平成29年度	平成30年度
資本金	万円	5,000	5,000
売上高	千万円	139	151
従業員数	人	20	20
床面積(本社)敷地／延べ床面積	㎡	188.73/407.95	188.73/407.95
床面積(倉庫)敷地／延べ床面積	㎡	89.69/146	89.69/146
車両	台	8	8

２．　対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

（１）対象範囲：全社

（２）対象組織は「１．（２）所在地」欄に記載

（３）対象活動は「１．（６）事業活動の概要」欄に記載。

（４）レポートの対象期間及び発行日：表紙に記載
平成３０年１月１日より５月２０日までは、現「東邦株式会社」の数値に、１月１日より１２月３１日までの新「東邦化成株式会社」の数値を合算しました。

３．環境方針

《基本理念》

東邦化成株式会社は、事業活動のあらゆる局面で、環境負荷の継続的な改善を行い、関連する環境法規制・基準及びその他の同意する要求事項を遵守し、地球環境の保全への取組みを進めます。

《スローガン》

私たちは地球にやさしい仕事をします。

《基本方針》

1．環境改善への継続的取組みと配慮

環境保全に関する次の事項に目標を設定し、取組み結果を見直すなど継続的な環境改善に取組みます。

①資源・エネルギーの効率的利用による CO_2 排出量の削減

資源・エネルギーの消費状況をチェックし、環境への負荷を常に認識し、車両、空調設備等の効率的な運用により、二酸化炭素の排出量削減に取組みます。

②廃棄物排出量の削減

廃棄物排出量を削減します。また、廃棄物の分別を徹底し、再使用、再利用を促進します。

③上水道使用量の削減

元栓と水流を制御し、節約を推進します。

④化学物質貯蔵量の削減

最適在庫を管理し、PRTR該当物質の削減に取り組みます。

⑤グリーン購入に取組みます。

エコ商品の調査と購入を推進します。

⑥環境配慮型商品の拡販に努めます。

環境に配慮した商品設計、開発を推進し、PRTR非該当物質への代替に取り組みます。

⑦化学物質管理の徹底

法的規制を順守し、管理します。

2．環境活動の定着と環境情報の公表

全従業員に対して、この環境方針の周知徹底を図るとともに、環境教育を計画的に行い、環境保全活動の定着、向上に努めます。また、地域社会との共生を実践するために社会貢献活動に積極的に参加して行きます。また、環境方針と環境関連情報をホームページに公表します。

更新履歴
１９９８年８月１日　　制定
２００９年１２月１６日更新
２０１０年２月１６日　改定
２０１０年１１月１０日改訂
２０１３年３月５日改訂
２０１４年３月１２日改訂

２０１４年３月１２日

東邦化成株式会社

代表取締役　磯部　進

４．環境目標の設定と実績

目　　標		基準年実績	2017.1～12			2018.1～12			2019.1～12	2020.1～12	2021.1～12	2022.1～12	2023.1～12
		2008.1～12	目標9年目	実績	評価	目標10年目	実績	評価	目標11年目	目標12年目	目標13年目	目標14年目	目標15年目
二酸化炭素排出量	電力エネルギー量の削減	実績値	48%減	47.1%減	×	48%減	46.7%減	×	48%減	48%減	48%減	48%減	48%減
	kWh/年 (Kg-CO2/年)	31,160 (13,243.0)	16,203.2 (8,182.6)	16,480.0 (8,322.40)		16,203.2 (8,182.6)	16,618.0 (8,392,1)		16,203.2 (8,182.6)	16,203.2 (8,182.6)	16,203.2 (8,182.6)	16,203.2 (8,182.6)	16,203.2 (8,182.6)
	化石燃料(ガソリン)使用量の削減	実績値	25%減	24.9%減	×	25%減	23.8%減	×	25%減	22%減	23%減	24%減	25%減
	L／年 (Kg-CO2/年)	25,490.6 (59,180.5)	19,118.0 (44,392.0)	21,170.5 (49,150.8)		19,118.0 (44,319.3)	19,416.2 (45,010.7)		19,118.0 (44,319.3)	19,882.7 (46,160.8)	19,627.8 (45,569.0)	19,372.3 (44,977.2)	19,118.0 (44,319.3)
	化石燃料(都市ガス)使用量の削減	実績値	97.3%減	96.0%減	×	97.3%減	97.2%減	×	97.3%減	97.3%減	97.3%減	97.3%減	97.3%減
	Nm^3／年 (Kg-CO2/年)	748.0 (1,577.1)	20.0 (42.2)	30.0 (63.3)		20.0 (42.2)	21.0 (44.0)		20.0 (42.2)	20.0 (42.2)	20.0 (42.2)	20.0 (42.2)	20.0 (42.2)
	合　　計 (Kg-CO2/年)	74,000.61	52,616.8 28.90%減	57,536.4 22.25%減	×	52,543.9 28.90%減	53,446.8 27.68%減	×	52,543.9 28.90%減	52,543.9 28.90%減	52,543.9 28.90%減	52,543.9 28.90%減	52,543.9 28.90%減
排出量廃棄物	可燃性ゴミの削減	450.0	66.0%減	61.4%減	×	63.0%減	55.9%減	×	58.0%減	56.0%減	57.0%減	58.0%減	59.0%減
	Kg	450.0	153.0	173.9		166.5	198.4		189.0	198.0	193.5	189.0	184.5
総排水量	上水の使用量削減	実績値	23.75%減	20.63%減	×	21.88%減	19.38%減	×	21.88%減	21.88%減	21.88%減	21.88%減	21.88%減
	M^3	160.00	122.00	127.00		125.00	129.00		125.00	125.00	125.00	125.00	125.00
化学物質貯蔵量	化学物質貯蔵量の削減と管理の徹底	2009年度版に移行後設定の為、80.10Kgを基準値とする	67.54%減	70.06%減	○	71.29%減	45.37%減	×	50.06%減	50.06%減	50.06%減	50.06%減	50.06%減
	Kg		26.00	23.98		23.00	43.76		40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
グリーン購入の推進	グリーン購入品目数	実績値	25	22	×	25	26	○	27	28	29	30	31
環境配慮型商品の販売	環境配慮商品の定義付けと販売品目数	設定無	105	96	×	100	104	○	105	110	115	120	125

*購入電力の排出係数は、平成19年度の東京電力二酸化炭素排出係数:0.425(kg-CO2/kWh)を用いた。
*平成26年2月25日に電力エネルギー量、上水使用量、環境配慮商品販売量の6年目以降の目標値を上方修正した。
*平成26年2月25日にガソリン使用量、グリーン購入の6年目以降の目標値を下方修正した。
*平成27年2月20日に上水使用量、グリーン購入の7年目以降の目標値を下方修正した。
*平成27年2月20日に電力エネルギー量、ガソリン使用量、都市ガス使用量の7年目以降の目標値を上方修正した。
*平成27年の購入電力の排出係数は、平成25年度の東京電力二酸化炭素排出係数:0.530(kg-CO2/kWh)を用いた。
*平成28年以降のの購入電力の排出係数は、平成26年度の東京電力二酸化炭素排出係数:0.505(kg-CO2/kWh)を用いた。
*平成28年1月26日に都市ガス使用量の8年目以降の目標値を下方修正した。
*平成28年1月26日に化学物質貯蔵量の8年目以降の目標値を上方修正した。
*平成28年1月26日に環境配慮型商品の販売品目数の8年目以降の目標値を上方修正した。
*○;目標達成、　×;目標未達

5. 環境活動計画と取組実績　その2

	環境目標	実施事項	担当部署 責任者・担当者		H30年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1年間 集計
二酸化炭素の排出量	電力エネルギー量の削減 基準年比H29年48%減	倉庫での不要な照明の電源OFF	業務部:		実施												
		事務所不在時の消灯	業務部:		実施												
		エアコンの適温化の徹底	業務部:		実施												
		パソコンの未使用時電力削減	業務部:		実施												
		実績の把握と評価	(kWh)	目標値	1,610.0	1,610.0	1,350.0	1,100.0	1,100.0	1,200.0	1,350.0	1,450.0	1,450.0	1,250.0	1,250.0	1,483.2	16,203.2
				実績値	1,702.0	1,637.0	1,333.0	1,091.0	1,167.0	1,148.0	1,508.0	1,579.0	1,423.0	1,211.0	1,383.0	1,436.0	16,618.0
				評価	×	×	○	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×
	化石燃料(ガソリン)使用量の削減	エコドライブの励行	営業部:		実施												
		社内便の効率化推進	営業部:		実施												
		車両点検整備	営業部:		実施												
	基準年比H29年25%減	実績の把握と評価	(L)	目標値	1,350.00	1,600.00	1,600.00	1,600.00	1,500.00	1,680.00	1,700.00	1,700.00	1,680.00	1,600.00	1,600.00	1,508.00	19,118.00
				実績値	1,415.97	1,578.11	1,589.47	1,679.14	1,928.87	1,662.91	1,869.21	1,673.27	1,430.27	1,631.30	1,514.00	1,443.70	19,416.22
				評価	×	○	○	×	×	○	×	○	○	×	○	○	×
	化石燃料(都市ガス)使用量の削減	ガス機器の省エネ運転推進	業務部:		実施												
		ガス床暖房の不使用	業務部:		実施												
	基準年比H29年97.3%減		(N^3)	目標値	4.0	4.0	4.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	3.0	20.0
				実績値	5.0	5.0	6.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	21.0
				評価	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	合　計 (kg-CO2)		(kg-CO2)	目標値	3,951.00	4,530.55	4,399.25	4,270.91	4,032.80	4,500.58	4,622.69	4,673.19	4,626.83	4,340.37	4,344.56	4,251.15	52,543.89
				実績値	4,152.49	4,495.54	4,370.45	4,449.83	5,060.84	4,434.70	5,094.74	4,676.37	4,034.27	4,393.23	4,208.17	4,076.16	53,446.79
				評価	×	○	○	×	×	○	×	×	○	×	○	○	×
廃棄物	廃棄物の削減 基準年比H29年66%減	廃棄物の分別推進	業務部:		実施												
		廃棄物量の削減と計測実施	本社:		実施												
		実績の把握と評価	(kg)	目標値	12.0	13.0	14.5	13.5	13.0	16.0	14.0	14.0	16.0	13.0	13.0	14.5	166.5
				実績値	15.2	14.1	14.5	19.5	17.8	15.8	15.2	18.9	15.7	19.0	15.4	17.3	198.4
				評価	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×
総排水量	上水使用量の削減 基準年比H29年23.75%減	散水時の節水	業務部:		実施												
		手洗い時の節水	全社:		実施												
		実績の把握と評価	(m^3)	目標値	21.0	0.0	21.0	0.0	21.0	0.0	21.0	0.0	21.0	0.0	20.0	0.0	125.0
				実績値	21.0	0.0	22.0	0.0	23.0	0.0	21.0	0.0	21.0	0.0	21.0	0.0	129.0
				評価	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×
化学物質貯蔵量の削減	化学物質貯蔵量の削減 基準年比H29年67.54%減 月平均で達成	営業時、直送の検討	営業部:		実施												
		受注時、直送の検討	業務部:		実施												
		実績の把握と評価	(kg)	目標値	20.00	25.00	20.00	20.00	28.00	28.00	20.00	25.00	20.00	25.00	20.00	25.00	23.00
				実績値	15.80	24.20	59.90	43.10	26.30	26.30	62.27	40.00	37.90	48.40	56.80	84.10	43.76
				評価	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
グリーン購入推進	グリーン購入の推進 H29年25品目	購入可能環境配慮商品の調査	業務部:		実施												
		購入環境配慮商品のリスト見直し	業務部:		実施												
		環境配慮製品の購入	業務部:		実施												
		実績の把握と評価	(品目数)	目標値	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	25
				実績値	1	2	4	2	3	2	1	3	3	1	3	1	26
				評価	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○
環境配慮型商品の販売	環境配慮型商品の販売 H29年105品目	環境配慮型商品の開発	営業部:		実施												
		環境配慮型商品の調査	営業部:		実施												
		環境配慮型商品の販売	営業部:		実施												
		実績の把握と評価	(品目数)	目標値	8	8	8	8	8	8	8	9	8	9	9	9	100
				実績値	5	13	7	8	10	9	12	11	8	4	10	7	104
				評価	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
化学物質管理	化学物質管理の徹底　(維持管理項目)	毒物劇物の販売管理	全社		実施												
		消防法危険物の数量管理	全社		実施												
		毒物劇物、消防法危険物の保管管理	全社		実施												
			評価		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

６．環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境目標		取り組み項目	取組		
			結果	評価	次年度の取組内容
1．CO2の削減	①電力エネルギーの削減	倉庫不要照明の消灯	継続的な取り組みにより実施できた。	○	継続して取り組む。
		事務所不要照明の消灯	業務部を中心に実施できた。	○	継続して取り組む。
		エアコンの温度管理の徹底	温度管理は徹底できたが、夏期のエアコンの電力が増加した。	×	室内温度計でチェックしON/OFFする。
		パソコンの未使用時の電力削減	昼休みの休止、終業時のサーバー停止ができた。	○	継続して取り組む。
	②ガソリン消費量の削減	エコドライブの徹底	売上増により無駄な走り、アイドリングストップの徹底できなかった。	×	ルートの見直し、忘れ物を無くす。アイドリングストップの徹底を継続して取り組む。
		社内便の効率化推進	無駄なく実施できなかった。	×	継続して取り組む。
		エコカーの配備	エコカーの配備により削減できた。	○	継続して取り組む。
	③都市ガス消費量の削減	ガス機器の省エネ運転	3月の使用量増加	×	余分な給湯を沸かさない取り組みを継続する。
		床暖房の使用制限	消費量を抑制できた。	○	床暖の使用を止める。
2．可燃性ゴミの削減		廃棄物分別の徹底	分別が徹底できた。	○	紙のリサイクルを徹底する。更に分別強化。
		廃棄物量の削減と計測実施	削減目標達成できず。	×	コンビニゴミの削減に取り組む。
3．上水使用量の削減		散水時の節水	植木の水遣り頻度を調整できた。	○	継続。
		手洗い時の節水	削減目標達成できず。トイレ使用増。	×	節水強化に取り組む。
4．化学物質貯蔵量の削減		営業時、直送の検討	管理は徹底できたが、在庫品目の変更により、削減目標達成できず。	×	管理の徹底。 直送継続 PRTR 対象品の削減に取り組む。
		受注時、直送の検討	受注時、直送を検討した	○	
5．グリーン購入の推進		購入可能環境配慮商品の調査 環境配慮製品のリスト見直し 環境配慮製品の購入	目標を達成できた。	○	目標を常に意識した発注をする。取組継続。
6．環境配慮型商品の定義付けと販売		環境配慮型商品の開発 環境配慮型商品の調査 環境配慮型商品の販売	代替品と新商品の開発と販売ができた。	○	日頃から、代替品の開発と販売推進に取り組む。

評価　○：予定通り取組実施　×：取組不十分

７．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反・訴訟はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去４年間ありません。

環境関係法規等遵守状況

区分	法規制名	内容	担当部門	遵守状況
廃棄物	東京都台東区条例　廃棄物の処理及び清掃に関する条例	ゴミの分別収集	業務部 営業部	収集日、分別は守られている。
産業廃棄物	廃棄物処理及び清掃に関する法律	契約確認。マニュフェスト運用	業務部	発生無し。
PRTR法	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	GHSへ対応したSDS制度に基き、指定化学物質のSDS（安全データシート）の提供。（平成２４年４月に「指定化学物質等の性状及び取扱いに関する情報の提供の方法等を定める省令」改正）	営業部	SDS受領書の運用はできている。 非該当製品の開発。
毒物･劇物	毒物及び劇物取締法	適正な取扱。 譲渡管理。 紛失盗難防止。	業務部 営業部	鍵の掛け忘れ無し。譲受書の保管はされている。
危険物	消防法	危険物の貯蔵管理。取扱者の講習期限の管理	業務部 営業部	種類別貯蔵量は守られている。
関連物質 化審法	化学物質の審査及製造等の規制に関する法律（化審法）	製造・輸入使用等について必要な規制を行う。	営業部	管理を遵守、代替品への取り組み。
オゾン層 破壊物質	オゾン層保護法	特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律。	営業部	非規制製品開発の取り組み。
安　全	労働安全衛生法（有機溶剤中毒予防規則）	有機溶剤中毒を防止することを目的とした省令。	営業部	適正な使用の指導及び安全な取り扱いの遵守。
その他１	環境負荷禁止物質不使用の要望	法規制による使用禁物質や通達により使用廃止を連絡している物質の即時使用禁止。	営業部	不使用証明の提出に協力する。
その他２	RoHS規制	10物質の使用禁止。 （水銀、鉛、六価クロム、カドミウム、PBB、PBDE、DEHP、BBP、DBP、DIBP）	営業部	不使用証明の提出に協力する。
その他３	地球温暖化防止対策	地球温暖化係数のある物質の製造使用抑制。	営業部	代替製品開発の取り組み。

※RoHS規制は2019年7月22日よりDEHP(フタル酸ジニエチルヘキシル)、BBP(フタル酸ブチルベンジル)、DBP(フタル酸ジブチル)、DIBP(フタル酸ジイソブチル)が追加。

代表者による全体の評価と見直し
結果報告書

<table>
<tr><td>見直し実施日</td><td colspan="4">2018年2月8日　　（ ■定期見直し　□臨時見直し ）</td></tr>
<tr><td>見直し対象期間</td><td colspan="4">2017年1月1日 ～ 2017年12月31日</td></tr>
<tr><td>出 席 者</td><td colspan="4">代表者、環境管理責任者、事務局</td></tr>
<tr><td>前回の指示への取組結果</td><td colspan="4">前回の指示事項：温調はエアコンのみ使用すること。
取組：倉庫側の節電が不調。オフィス側は、削減できたが、ガソリン使用量の増大により、二酸化炭素排出量は大幅に増加した。</td></tr>
<tr><td>見直しに必要な情報</td><td colspan="4">①環境関連法規の遵守状況
②環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況
③問題点の是正処置及び予防処置の結果
④外部からの環境に関する苦情等の受付結果
⑤その他</td></tr>
<tr><td rowspan="9">代表者による評価
経営的観点</td><td colspan="4">【環境経営システムが有効に機能しているか】（①、③、④、⑤等を踏まえて評価）
環境経営システムは有効に機能している。</td></tr>
<tr><td colspan="4">【環境への取組が適切に実施されているか】（②等を踏まえて評価）</td></tr>
<tr><td>目標項目</td><td>目標達成状況</td><td>活動計画実施状況</td><td>目標・活動計画実施状況の評価</td></tr>
<tr><td>CO2排出量の削減</td><td>×</td><td>○</td><td>目標設定方法：電気、ガソリン、都市ガスとも継続とした。取組方法:節電、化石燃料の削減（温度管理、電気とガスの使い分け、ガソリンはエコドライの徹底）。次年度の方向:電力、ガソリン、都市ガスとも継続。目標値は継続設定。</td></tr>
<tr><td>可燃性ゴミ排出量の削減</td><td>×</td><td>○</td><td>目標設定方法:目標を上方修正したが、未達。取組方法:分別の徹底。次年度の方向:継続するが、目標値を下方修正とする。</td></tr>
<tr><td>上水使用量の削減</td><td>×</td><td>○</td><td>目標設定方法:目標を上方修正したが、未達。取組方法:節水の徹底。次年度の方向:継続するが目標値を下方修正とする。</td></tr>
<tr><td>化学物質貯蔵量の削減</td><td>○</td><td>○</td><td>目標設定方法:貯蔵量の平均値とし、大幅に達成できた。取組方法:継続する。次年度の方向:品目を削減し、更に削減に取り組む。</td></tr>
<tr><td>グリーン購入の推進</td><td>×</td><td>○</td><td>目標設定方法:目標値を下方修正したが、未達成。取組方法:新たな品目を追加できるようにカタログを調査。発注時に再度目標もチェックする。次年度の方向:目標値を維持。</td></tr>
<tr><td>環境配慮型商品の定義付けと販売</td><td>×</td><td>○</td><td>目標設定方法:目標を上方修正して来たが、達成できた。取組方法:開発及び販売を強化した。次年度の方向:代替品の開発と販売推進に取り組む。目標値を下方修正とする。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">代表者による見直し
変更の必要性の有無・変更に必要な具体的指示事項</td><td colspan="4">【環境方針】　　変更の必要性 ： □有 ■無
2009年度版を継続する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">【環境目標及び環境活動計画】　変更の必要性 ： ■有 □無
CO2排出量は全項目とも未達成。可燃性ゴミ、上水使用量、グリーン購入についても、目標未達であった。二酸化炭素排出量は再度同じ目標を設定したが、ゴミ排出量、総排水量、グリーン購入、環境配慮型商品の販売については、下方修正した。化学物質貯蔵量のみ目標を上げた。</td></tr>
<tr><td colspan="4">【環境経営システム等】　　変更の必要性 ： □有 ■無
十分に機能していると考える。</td></tr>
<tr><td colspan="4">【総 括】（環境活動レポートに転記）
電力・都市ガスとも過去に相当削減して来たが、営業活動の強化からガソリンの使用量が上昇してしまった。電力、ガスについては限界が近付きつつあることを感じるが、再挑戦する。次年度もグリーン購入と環境配慮型商品に力を入れたい。</td></tr>
</table>

注）①定期的（少なくとも毎年1回）に実施すること。登録審査の場合は、臨時に行うこと。
②事業年度が終了したら、速やかに終了事業年度（登録審査の場合は登録の運用期間）の見直しをすること。
③事業内容の変更や重大な事故・不適合が生じた場合等の時は、臨時の見直しをすること。
②事業年度が終了したら、速やかに終了事業年度（登録審査の場合は登録の運用期間）の見直しをすること。
③事業内容の変更や重大な事故・不適合が生じた場合等の時は、臨時の見直しをすること。